

PRESS RELEASE

2023年2月1日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、「白井データセンターキャンパス」でオンサイト太陽光発電の運用を開始

-- 自社データセンターにおけるカーボンニュートラルへの取組みを推進 --

当社は、2019年5月より運用しているデータセンター「白井データセンターキャンパス」（千葉県白井市、以下白井 DCC）のサーバ棟および管理棟屋上に太陽光発電パネルを設置し、2023年2月より運用を開始いたしました。設置した太陽光発電パネルの設備容量は、白井 DCC サーバ棟の約3%にあたり、年間の発電量は約373MWhを見込んでいます。

当社は、白井 DCC を自社のクラウドやネットワークサービスの設備基盤として、またお客様から IT 機器をお預かりするコロケーション／ハウジングサービスの拠点として運営しています。多くの電力を消費するデータセンターにおいて温室効果ガス削減（カーボンニュートラル）は喫緊の課題となっており、これまで、エネルギー効率の高い外気冷却方式の空調設備や、AI による空調制御、リチウムイオン蓄電池の活用など最新の省エネ技術を導入し、電力利用効率の最適化を図ってきました。

オンサイト太陽光発電は、このような、当社のデータセンターにおけるカーボンニュートラルへの取組みの一環として導入するもので、再生可能エネルギー導入の促進とともに、電力コストの低減および安定化を目的としています。

なお、本設備設置は、環境省の「令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」の助成対象となっています。

設備概要

設置箇所	サーバ棟および管理棟屋上
太陽光パネル容量	336kWp
発電量(見込み)	373MWh(年間)
運用開始	2023年2月～

イメージ



(※) 本設備は、株式会社関電エネルギーソリューションのユーティリティサービスとして導入します。

- 白井データセンターキャンパスの詳細については、下記サイトをご覧ください。
<https://www.ij.ad.jp/DC/campus/>

今後、島根県松江市で運用している当社データセンター「松江データセンターパーク」および 2023 年 7 月に運用開始予定の白井 DCC 2 期棟にも、太陽光発電パネルを導入する予定です。

当社は、政府のグリーン成長戦略で掲げられたカーボンニュートラルの目標に向けて、今後も最新の省エネ技術の導入やグリーン電力の調達、再生可能エネルギー発電設備の導入などを進め、カーボンニュートラルデータセンターの実現および気候変動への対応を積極的に推進してまいります。

(ご参考)

IIJ のカーボンニュートラルデータセンター実現への取り組み：

https://www.ij.ad.jp/news/pressrelease/2022/pdf/handout_20220728.pdf

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL:03-5205-6310 FAX:03-5205-6377

E-mail:press@ij.ad.jp <https://www.ij.ad.jp/>

※本ニュースリリースに記載されている社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。